



## 2024年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2024年5月7日

上場会社名 株式会社 フライングガーデン  
コード番号 3317 URL <http://www.fgarden.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野沢 卓史  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 営業支援本部長 (氏名) 片柳 紀之  
定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 2024年6月26日  
有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 0285-30-4129

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	7,785	7.6	550	22.6	576	0.9	396	35.9
2023年3月期	7,236	11.5	449	95.4	571	9.7	291	15.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	274.33		14.3	13.7	7.1
2023年3月期	201.85		11.8	14.5	6.2

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	4,454	2,950	66.2	2,041.52
2023年3月期	3,981	2,590	65.1	1,792.21

(参考) 自己資本 2024年3月期 2,950百万円 2023年3月期 2,590百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	644	355	36	1,364
2023年3月期	416	366	43	1,111

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期		0.00		25.00	25.00	36	12.4	1.5
2024年3月期		0.00		30.00	30.00	43	10.9	1.6
2025年3月期(予想)		0.00		30.00	30.00		12.8	

### 3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,000	3.4	250	30.5	250	32.3	180	32.5	124.55
通期	8,100	4.0	480	12.8	490	15.1	340	14.2	235.27

## 注記事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 有
修正再表示	: 無

(注)詳細は添付資料P.12「3.財務諸表及び主な注記(5)財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

### (2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	1,449,168 株	2023年3月期	1,449,168 株
期末自己株式数	2024年3月期	3,991 株	2023年3月期	3,919 株
期中平均株式数	2024年3月期	1,445,216 株	2023年3月期	1,445,249 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については添付資料のP.3「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2024年5月29日(水)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

この説明会の内容については、当日使用する決算説明資料を、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計上の見積りの変更) .....	12
(持分法損益等) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12
4. その他 .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行されたことで、個人消費やインバウンド需要を中心として経済活動の正常化が進んでおります。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、円安の影響によるエネルギー資源価格や原材料価格の高騰等により、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、人流の回復により消費行動の活発化の兆しが見えるものの、円安の影響によるエネルギー資源価格や原材料価格の高騰、慢性的な労働力不足による人件費の上昇、それらに伴う物価上昇による消費者マインドの変化等、厳しい経営環境が続いております。

このような環境下で、当社はお値打ち感のある商品開発に努め、4月のメニュー改定において、「爆弾カボナータ」や「爆弾チーズソース2倍」等の新たな爆弾ハンバーグの販売を開始しました。また、コラボメニューの「爆弾ガバオセット」や「岩下の新生姜コラボメニュー」、季節のデザートとして、「ふんわり優しい食感かき氷」や「とちあいかのいちごデザート」等を販売し、好評をいただきました。さらに11月には創業祭企画として期間限定「超大型爆弾ハンバーグ」を販売し、多くのお客様にお召し上がりいただきました。

店舗数につきましては、当事業年度中に出退店を行いませんでしたので、前期末と変わらず58店舗でした。

当事業年度の業績につきましては、依然として厳しい状況ではありましたが、来客数、売上高共に堅調に推移し、売上高は7,785,235千円(前年同期比7.6%増)となりました。

利益面では、売上高が増加したこと、また、原材料費等の上昇があったものの、政府施策により光熱費の負担が軽減されたことで、当事業年度の営業利益は550,528千円(前年同期比22.6%増)、経常利益は576,999千円(前年同期比0.9%増)、当期純利益は396,459千円(前年同期比35.9%増)と、前年同期に比べ助成金収入が98,263千円減少したにも関わらず増収増益となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の資産の状況につきましては、流動資産は前事業年度末と比べて268,382千円増加し、1,942,347千円となりました。これは主として現金及び預金及び売掛金の増加によるものであります。固定資産につきましては前事業年度末と比べて204,675千円増加し、2,512,216千円となりました。これは主として有形固定資産の増加によるものであります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて473,058千円増加し、4,454,564千円となりました。

負債の状況につきましては、流動負債は前事業年度末と比べて93,478千円増加し、957,047千円となりました。これは主として未払金の増加によるものであります。固定負債につきましては前事業年度末と比べて19,404千円増加し、547,154千円となりました。これは主として資産除去債務の増加によるものであります。

この結果、総負債は前事業年度末に比べて112,882千円増加し、1,504,202千円となりました。

純資産の状況につきましては、前事業年度末に比べて360,175千円増加し、2,950,362千円となりました。これは主として配当金の支払及び当期純利益の計上によるものであります。

なお、2023年6月22日開催の第42期定時株主総会の決議に基づき、2023年8月1日付で減資の効力が発生し、資本金の額を529,900千円減少し、その全額をその他資本剰余金に振り替えております。

これにより、当事業年度末において資本金が50,000千円、資本剰余金が1,026,082千円となっております。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末と比べ252,876千円増加し、1,364,811千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動の結果得られた資金は644,848千円(前年同期比54.8%増)となりました。これは主に税引前当期純利益553,666千円を計上したことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動の結果使用した資金は355,669千円(前年同期比3.0%減)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出335,298千円を計上したことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動の結果使用した資金は36,302千円(前年同期比16.1%減)となりました。これは配当金の支払額36,149千円を計上したことによるものであります。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、人流の回復により消費行動の活発化の兆しが見えるものの、引き続き水道光熱費や原材料価格の高騰に加え、物流費や人件費の上昇等、依然として先行きが不透明な状況であります。当社といたしましては、お客様にご納得いただける高品質なサービス、商品の提供を行ってまいります。また、爆弾ハンバーグを中心とした販売促進の取り組み、継続的な季節メニューの投入及び更なる経費の見直しを行い収益の改善を図ってまいります。

以上のような事業環境認識に基づき、売上高8,100百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益480百万円（前年同期比12.8%減）、経常利益490百万円（前年同期比15.1%減）、当期純利益340百万円（前年同期比14.2%減）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達が必要が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

### 3. 財務諸表及び主な注記

#### (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,346,434	1,599,311
売掛金	187,052	212,544
商品及び製品	10,176	7,144
原材料及び貯蔵品	41,342	37,827
前払費用	79,484	77,898
その他	9,474	7,621
流動資産合計	1,673,964	1,942,347
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,852,210	3,988,398
減価償却累計額	△3,081,256	△3,179,283
建物(純額)	770,954	809,114
構築物	921,584	952,983
減価償却累計額	△764,775	△779,800
構築物(純額)	156,808	173,182
機械及び装置	466,002	611,453
減価償却累計額	△344,944	△401,512
機械及び装置(純額)	121,057	209,940
車両運搬具	4,275	4,275
減価償却累計額	△4,275	△4,275
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	397,741	417,581
減価償却累計額	△368,986	△351,490
工具、器具及び備品(純額)	28,755	66,091
土地	274,513	274,513
建設仮勘定	—	12,517
有形固定資産合計	1,352,089	1,545,360
無形固定資産		
借地権	126,321	126,189
ソフトウェア	23,330	34,559
ソフトウェア仮勘定	—	3,740
その他	188	146
無形固定資産合計	149,841	164,635

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
投資その他の資産		
差入保証金	222,093	211,631
長期前払費用	31,757	12,694
繰延税金資産	234,176	260,313
保険積立金	315,745	315,745
その他	1,837	1,837
投資その他の資産合計	805,610	802,220
固定資産合計	2,307,541	2,512,216
資産合計	3,981,506	4,454,564
負債の部		
流動負債		
買掛金	218,594	223,159
未払金	303,033	422,354
未払費用	66,463	59,992
未払法人税等	102,856	64,607
未払消費税等	98,273	86,167
ポイント引当金	9,840	6,320
賞与引当金	45,000	47,000
預り金	9,764	28,172
前受収益	4,786	3,904
資産除去債務	—	10,500
その他	4,956	4,869
流動負債合計	863,569	957,047
固定負債		
退職給付引当金	140,663	146,940
役員退職慰労引当金	190,399	193,588
資産除去債務	174,477	183,495
受入保証金	22,206	23,130
長期前受収益	2	—
固定負債合計	527,749	547,154
負債合計	1,391,319	1,504,202
純資産の部		
株主資本		
資本金	579,900	50,000
資本剰余金		
資本準備金	496,182	496,182
その他資本剰余金	—	529,900
資本剰余金合計	496,182	1,026,082
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,520,377	1,880,706
利益剰余金合計	1,520,377	1,880,706
自己株式	△6,272	△6,425
株主資本合計	2,590,186	2,950,362
純資産合計	2,590,186	2,950,362
負債純資産合計	3,981,506	4,454,564

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	7,236,082	7,785,235
売上原価		
原材料及び製品期首棚卸高	27,425	32,911
当期製品製造原価	828,973	976,326
原材料仕入高	1,297,705	1,413,597
合計	2,154,104	2,422,834
原材料及び製品期末棚卸高	32,911	28,627
売上原価合計	2,121,193	2,394,206
売上総利益	5,114,888	5,391,028
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	15,066	13,330
販売促進費	21,262	30,079
ポイント引当金繰入額	7,700	△3,520
消耗品費	243,301	274,876
役員報酬	106,620	107,850
給料及び賞与	830,935	858,303
賞与引当金繰入額	44,400	46,340
雑給	1,411,274	1,549,429
役員退職慰労引当金繰入額	8,127	8,327
退職給付費用	10,330	9,153
法定福利費	215,697	240,490
福利厚生費	44,746	48,961
教育採用費	20,122	22,594
地代家賃	456,199	441,137
賃借料	1,252	2,714
修繕費	122,068	124,611
水道光熱費	469,862	401,937
支払手数料	142,658	169,562
減価償却費	160,909	175,907
その他	333,327	318,410
販売費及び一般管理費合計	4,665,862	4,840,500
営業利益	449,025	550,528
営業外収益		
受取利息	480	340
受取賃貸料	40,341	44,269
助成金収入	100,695	2,432
雑収入	12,239	13,128
営業外収益合計	153,757	60,170
営業外費用		
支払利息	8	3
賃貸収入原価	28,466	32,073
雑損失	2,622	1,622
営業外費用合計	31,097	33,699
経常利益	571,686	576,999



(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
特別損失		
固定資産除却損	1,965	264
減損損失	104,972	23,069
特別損失合計	106,938	23,333
税引前当期純利益	464,747	553,666
法人税、住民税及び事業税	196,077	183,342
法人税等調整額	△23,052	△26,136
法人税等合計	173,024	157,206
当期純利益	291,722	396,459

製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 材料費	※	715,856	86.4	841,404	86.2
II 労務費		33,152	4.0	37,515	3.8
III 経費		79,964	9.6	97,405	10.0
当期総製造費用		828,973	100.0	976,326	100.0
当期製品製造原価		828,973		976,326	

(注) ※主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
減価償却費 (千円)	16,138	22,568
消耗品費 (千円)	33,996	40,786

(原価計算の方法)

原価計算の方法は、総合原価計算による実際原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	579,900	496,182	496,182	1,272,012	1,272,012	△6,272
当期変動額						
剰余金の配当				△43,357	△43,357	
当期純利益				291,722	291,722	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	—	—	248,365	248,365	—
当期末残高	579,900	496,182	496,182	1,520,377	1,520,377	△6,272

	株主資本	純資産合計
	株主資本合計	
当期首残高	2,341,821	2,341,821
当期変動額		
剰余金の配当	△43,357	△43,357
当期純利益	291,722	291,722
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—
当期変動額合計	248,365	248,365
当期末残高	2,590,186	2,590,186

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	579,900	496,182	—	496,182	1,520,377	1,520,377	△6,272
当期変動額							
減資	△529,900		529,900	529,900			
剰余金の配当					△36,131	△36,131	
当期純利益					396,459	396,459	
自己株式の取得							△152
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	△529,900	—	529,900	529,900	360,328	360,328	△152
当期末残高	50,000	496,182	529,900	1,026,082	1,880,706	1,880,706	△6,425

	株主資本	純資産合計
	株主資本合計	
当期首残高	2,590,186	2,590,186
当期変動額		
減資	—	—
剰余金の配当	△36,131	△36,131
当期純利益	396,459	396,459
自己株式の取得	△152	△152
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—
当期変動額合計	360,175	360,175
当期末残高	2,950,362	2,950,362

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	464,747	553,666
減価償却費	178,170	199,621
減損損失	104,972	23,069
固定資産除却損	1,965	264
助成金収入	△100,695	△2,432
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	7,700	△3,520
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,000	2,000
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,127	3,189
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,284	6,276
受取利息及び受取配当金	△480	△340
支払利息	8	3
売上債権の増減額 (△は増加)	△33,638	△25,491
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△13,398	6,546
前払費用の増減額 (△は増加)	△51,721	20,567
仕入債務の増減額 (△は減少)	49,613	4,564
未払金の増減額 (△は減少)	△47,333	68,243
未払費用の増減額 (△は減少)	8,825	△6,471
未払消費税等の増減額 (△は減少)	40,019	△12,106
その他	△12,501	6,482
小計	612,665	844,132
利息及び配当金の受取額	4	3
助成金の受取額	100,695	2,432
法人税等の支払額	△296,722	△201,719
営業活動によるキャッシュ・フロー	416,642	644,848
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△310,000	△310,000
定期預金の払戻による収入	310,000	310,000
有形固定資産の取得による支出	△394,829	△335,298
無形固定資産の取得による支出	△2,000	△29,201
差入保証金の回収による収入	28,052	10,005
その他	2,020	△1,175
投資活動によるキャッシュ・フロー	△366,756	△355,669
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	—	△152
配当金の支払額	△43,285	△36,149
財務活動によるキャッシュ・フロー	△43,285	△36,302
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,600	252,876
現金及び現金同等物の期首残高	1,105,334	1,111,934
現金及び現金同等物の期末残高	1,111,934	1,364,811

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務等として計上していた資産除去債務について、原状回復費用の新たな情報の入手に伴い見積りの変更を行いました。見積りの変更による増加額18,040千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

なお、この変更に伴って計上した有形固定資産の一部については減損損失として処理をしたことにより、当事業年度の税引前当期純利益が335千円減少しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社はファミリーレストラン事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,792円21銭	2,041円52銭
1株当たり当期純利益	201円85銭	274円33銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	潜在株式がないため記載しておりません。	潜在株式がないため記載しておりません。

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益(千円)	291,722	396,459
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	291,722	396,459
普通株式の期中平均株式数(株)	1,445,249	1,445,216

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

該当事項はありません。